

5グループに増えたATAC

財団法人 大阪科学技術センター
ATAC副会長 荒川 守 正

大阪のATACが誕生して来年で満15年になりますが、その後奈良、岡山、和歌山と広がり、今年広島が開業して、5グループになりました。去る4月3、4日には岡山の幹事役で、第3回の情報交換会を催し、有志27名がサンロード吉備路に集い、情報交換と親睦を深め、お互いの活力を一段と高める事が出来ました。

それでは、新しい順に各グループを簡単にご紹介しましょう。

ATACひろしま

2004年10月に発足し、2005年3月17日に広島ワシントンホテルで開催された設立記念講演会で本格活動に入りました。

(財)中国産業活性化センターの支援下12名でスタート。広島はATACの二代目会長水野博之氏のご出身地ということもあって、早くから大阪のATACの情報を収集して来られたので、やっと出来たなという思いですが、仲間が増えてお目出度い限りです。

ATAC・MATE和歌山

一年間の準備期間を経て、2002年6月に、住友金属工業のOBを中心に6名で発足し、現在12名でNPO法人。2003年コーディネーター活動支援事業に採択され、2004年STOP地球温暖化調査研究事業を受託、また無料相談会を開催し、8社から相談を受けています。創立時より、環境問題に重点をおいて活躍中。

ATAC・MATE岡山

2000年7月岡山商工会議所の中小企業振興事業の一環として創立。企業の技術系管理者、大学教官、弁理士、技術士、中小企業

診断士等9名で運営しています。現在までに18社を支援。契約件数44件。2001、2年はコーディネーター活動支援事業に採択され、2003、4年は日本商工会議所の企業OB人材マッチングモデル事業の委託金指定を受けて活動中。

ATAC・MATE奈良

1997年1月奈良在住者3名と筆者の4名で発足。2001年奈良県下第一号のNPO法人となり現在10名。山林の多い奈良では、企業よりも自治体、商工会議所、中央会等の活動に協力。独自テーマとして、サクランボと農業法人、桑と養蚕の福祉産業化、金魚の水槽飼育とインターネット販売等一次産業の近代化に注力しています。

ATAC

1991年4月に、前年の(財)大阪科学技術センター30周年記念事業の一環として発足。最近、ユニークな中小企業を20名程度の社長さんと訪問見学する勉強会(社長懇話会)を企画し、好評です。来年15周年で、今までの経験を纏めた出版物を計画中。現在の22名に新たに女性メンバーを5人程度加えて、より活性化を図れないかと思案中。また、受け身でなく、例えば、亜臨界水で環境問題を解決しようと、地元はもとより北海道、四国で提案中です。ATACの出発点になった「ATA設立の夢」近畿化学工業界1990年4月号にもあるように、先ずメンバーが互いに知り合い、互いのネットワークを利用して仕事先を見つけるなり、新たな仕事を創造するという積極性を常に忘れないことが、ATAC活動の原点であると思っています。